

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 天王寺区

学 校 名 大阪市立味原小学校

学校長名 井上 克己

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・味原小学校では、第6学年43名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全体としての平均正答率については国語科・算数科ともに大阪市・全国の値を10%以上上回る結果だった。また、無解答率については大阪市・全国を下回り国語科が1.5%、算数科は0.5%としっかり解答することができていた。領域別に見ると、国語科では、話すこと、読むこと、我が国の言語事項に関する項目が15%程度上回り、言葉の使い方、情報の扱い方、書くことが10%程度上回る結果だった。算数科では、データの活用が15.1%、数と計算が12.6%、変化と関係が12.4%、図形が9.7%上回る結果だった。児童質問紙では、学習を好む児童が多く、それに比例して内容を理解できていると答える児童も多かった。その背景には、放課後や休日にも学習に励んでいること、ICT機器を活用した学習も行っていることから、既習事項の確実な定着と、学習に対する意欲が育まれていると考えられる。

## 分析から見てきた成果・課題

## 教科に関する調査より

本校児童は、学習の合間や宿題でデジタルドリルに反復的に取り組んでいる。その成果もあり、今回の学習調査においては、両教科において多くの児童で基礎基本が定着していることが伺えた。

国語科においては、話し言葉と書き言葉の違いや、情報と情報の関係付け、語句と語句の関係の表し方を理解できていなかったり、漢字が正しく使えていない点があった。今後は、読書や新聞などを活用して文章構成の捉え方や言葉の繋がりなどに着目した指導を進めていきたい。また、書くことにおいては、立場を明確にして事実や感想、意見などを区別したり、工夫した書き方ができるようにしたい。

算数科においては、図形領域で展開図や見取図などを正しくかいたり、五角柱の面の数を言葉と数を用いて説明することに課題が見られた。日頃より、デジタルドリルなどで練習問題は反復的にやっているが、解答した理由を説明したり、解答を文章で書くことには不慣れである。

## 質問調査より

本校児童の多くは、朝食や起床就寝など規則正しい生活を意識して毎日を過ごしている。また、携帯電話等の使用に関する約束も守っている児童が多く、充実した家庭生活を送っていることがわかる。学校生活においても、学校は楽しいと回答している児童がほとんどで、友達関係に満足している児童が90%にも上る。学習についても好きな児童が多く、内容についても理解できていると解答している。放課後や休日、進んで学習や読書をして過ごしている児童が多い。自己肯定感、社会奉仕精神も高く内面の順調な成長がわかる。一方で、将来の夢や目標に関しては、大阪市、全国よりも少し低く、今後の成長のためには、目標や夢を見つけ更なる充実した生活が送れるようにしたい。

## 今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、読書活動の推進やこども新聞を活用して、文字に慣れ親しむとともに、文章構成を考える授業づくりを行う。その中でも、言語に注目して、段落の繋がりや、情報、内容の繋がり理解できるようにする。

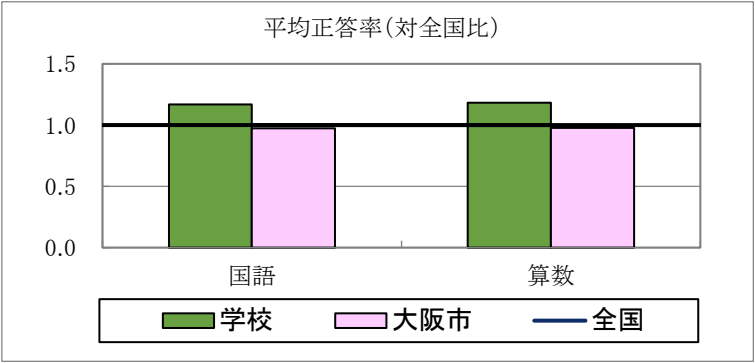
算数科においては、日々の授業の中で、解答した理由をノートに書いたり、ペアやグループで発表しあうなど、解答までのプロセスを大切に授業づくりにつなげていく必要がある。解答を言語化することで更なる学習の理解につなげていく。

児童については、学習を目標や夢につなげられようキャリア教育を充実させる。トップアスリート授業や、出前授業などを行うことで目標を見つけたり、探究活動の時間を設けて、その学習の過程で夢や目標をみつけられるようにする。

【 全体の概要 】

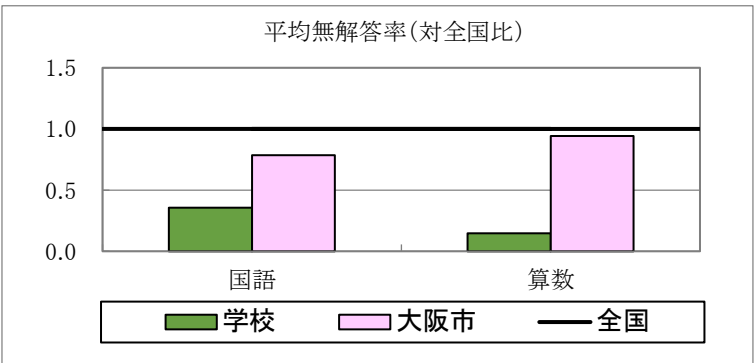
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	79	75
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.5	0.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

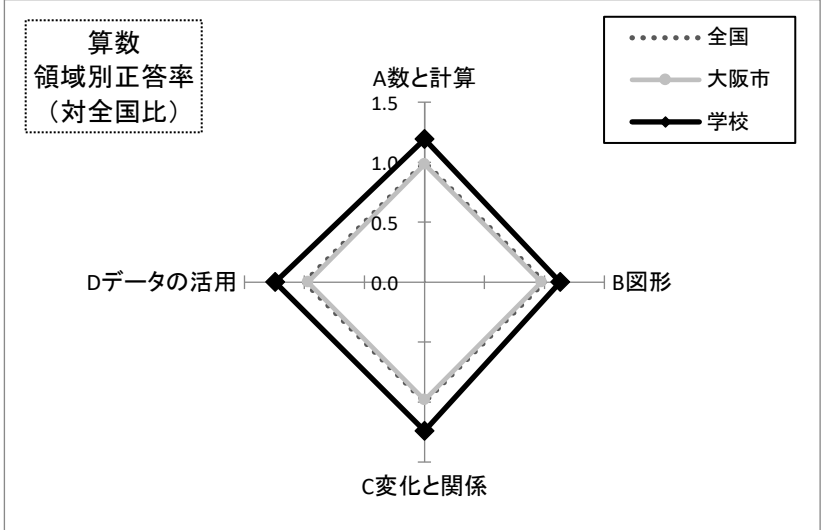
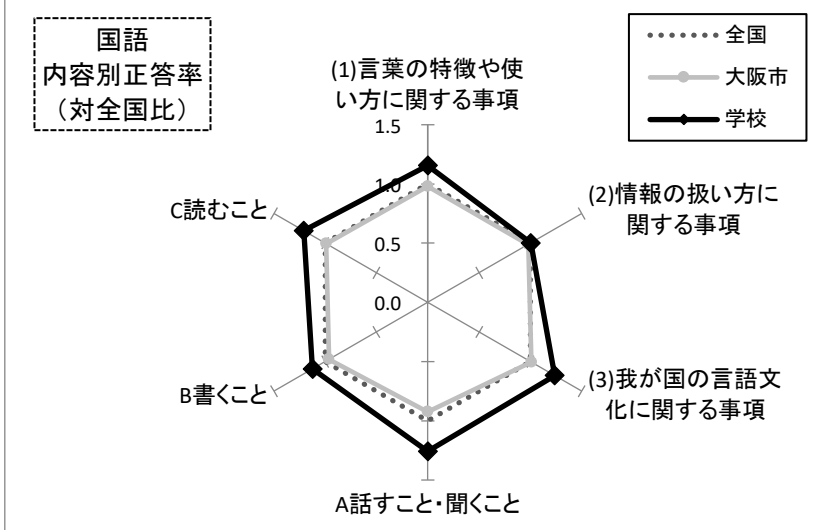
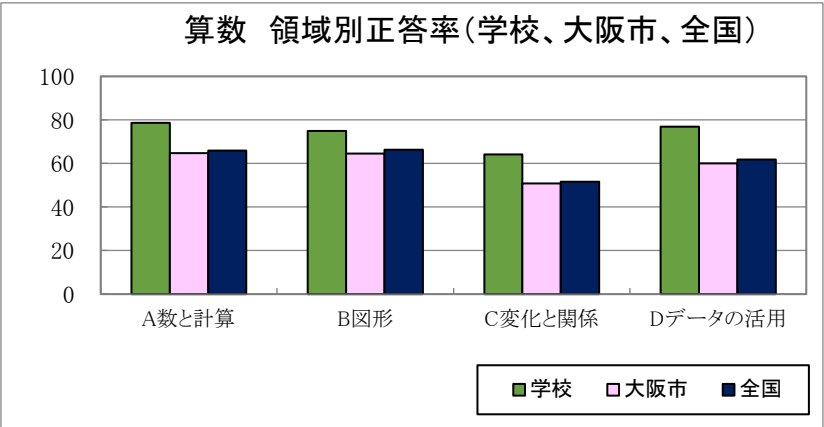
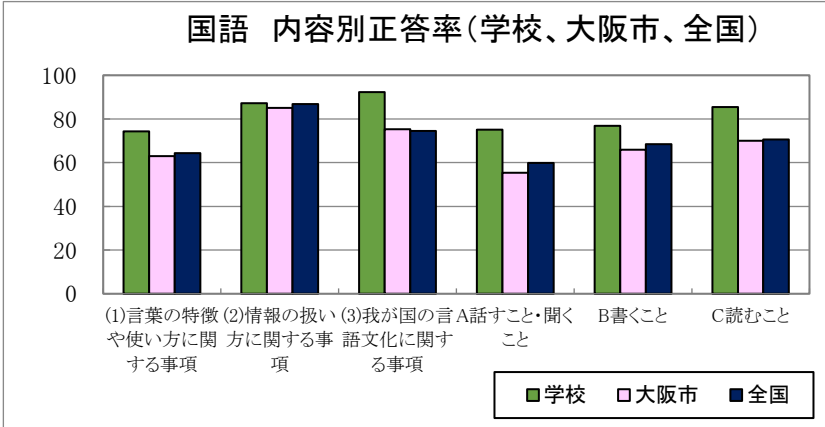


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	74.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	87.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	92.3	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	75.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	76.9	65.9	68.4
C 読むこと	3	85.5	70.1	70.7

【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	78.6	64.8	66.0
B 図形	4	75.0	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	64.1	50.8	51.7
D データの活用	4	76.9	60.0	61.8



児童質問より

質問番号
質問事項

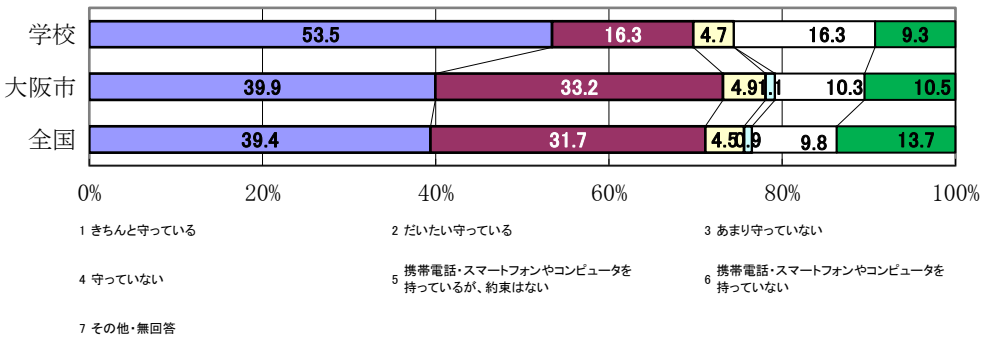
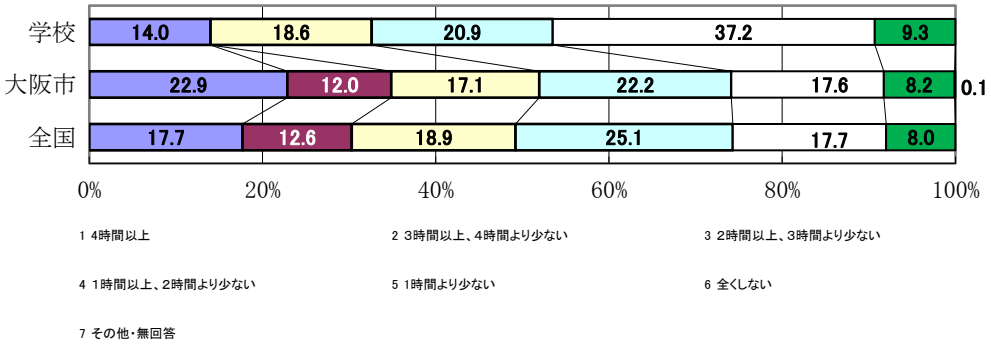
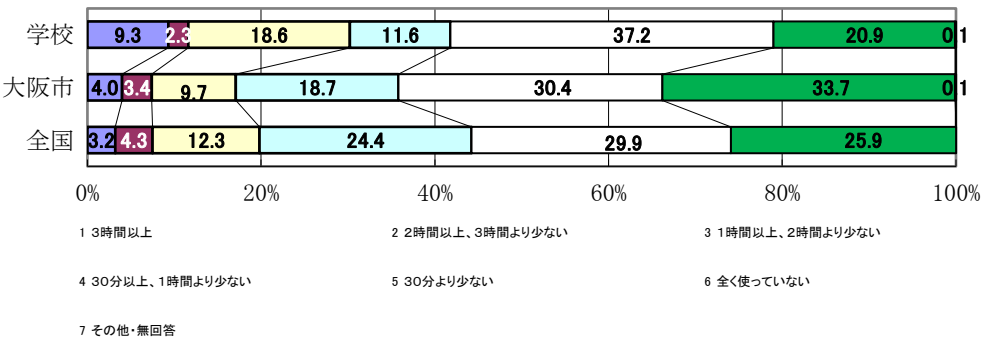
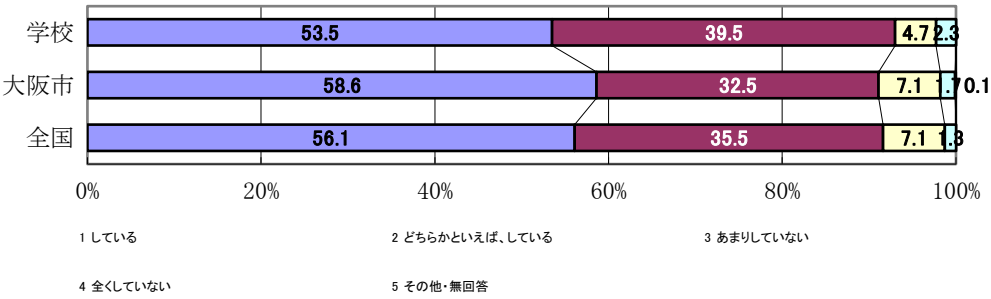
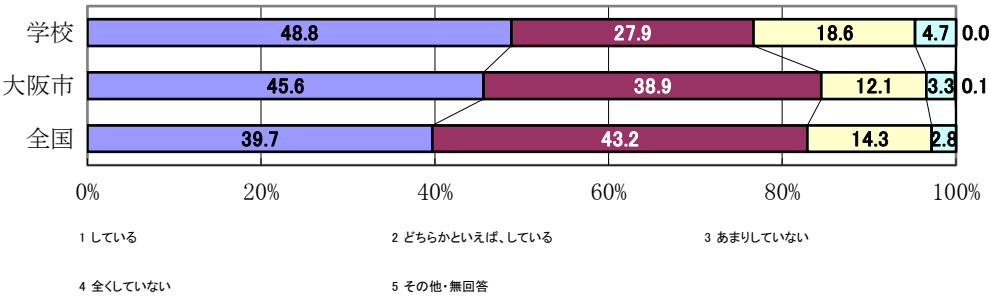
2
毎日、同じくらいの時刻に寝て いますか

3
毎日、同じくらいの時刻に起き ていますか

4
学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当 たりどれくらいの時間、PC・タ ブレットなどのICT機器を、勉 強のために使っていますか (遊びなどの目的に使う時間 は除く)

5
普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、テ レビゲーム(コンピュータゲー ム、携帯式のゲーム、携帯電 話やスマートフォンを使った ゲームも含む)をしますか

7
携帯電話・スマートフォンやコ ンピュータの使い方につい て、家の人と約束したことを 守っていますか



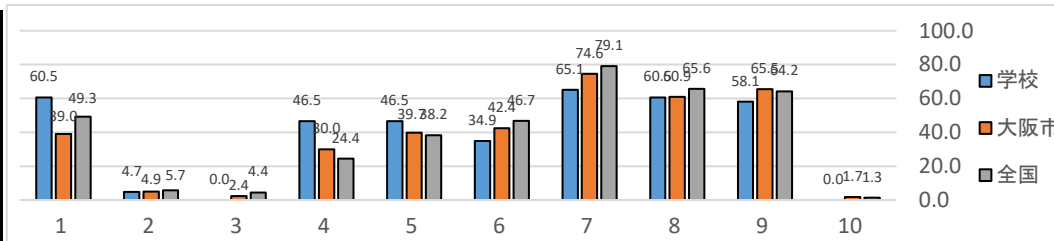
## 児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして  
過ごすことが多いですか  
(複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

学校質問より

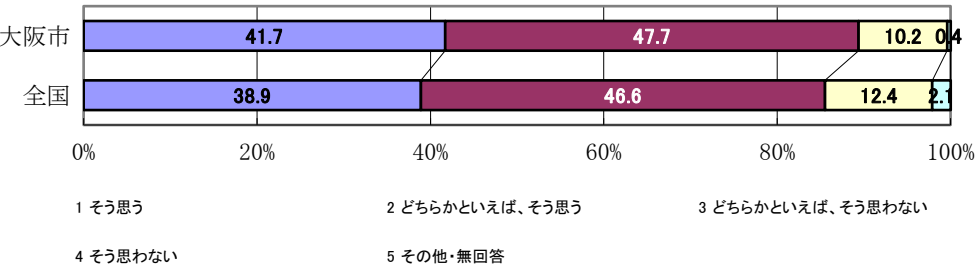


質問番号  
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

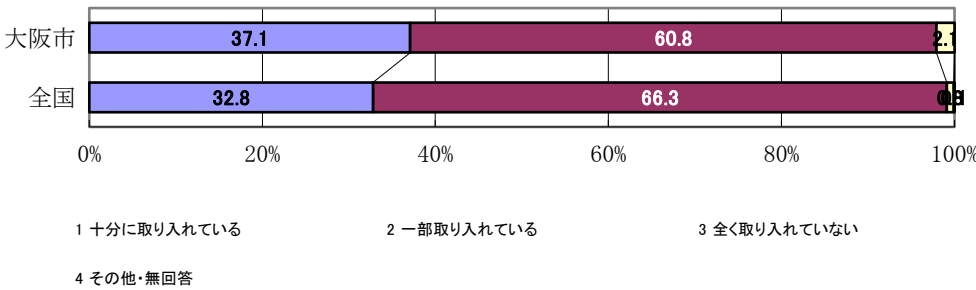
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

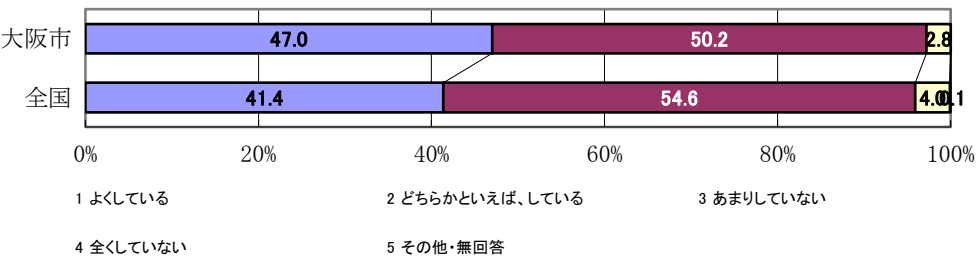
学校 「十分に取り入れている」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

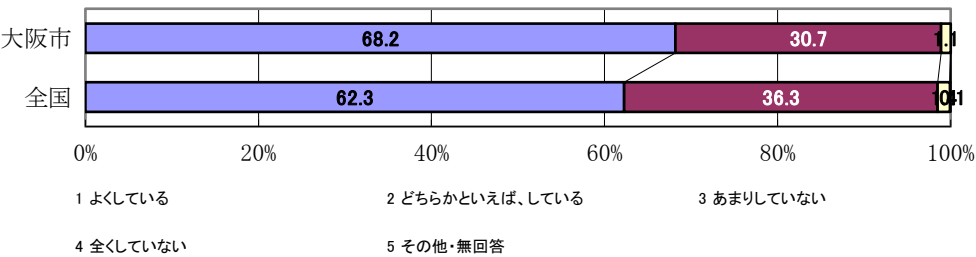
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「そう思う」を選択

